

福祉部会の進め方について（案）

- ・各校区で「協議の場」を開催。各々の取組みの課題と今後の方針を共有。

⇒別紙参照



まちづくり検討会議（福祉部会）でこれから話し合うべきこと（案）

①各校区での取り組みを進めるサポート

特に、“2つの校区をまたぐ” 部会だからできること

例 ノウハウや情報の交流・発信、共同セミナー（合同活動）、
活動場所の提供（集会所など） など

②まちづくり全体(まちづくり構想)に反映することの検討

まちづくりの大きな流れとして、別紙（住環境コミュニティ部会の資料）のように、「段階的に・できることから」進めていくことを検討しています。

その目玉である「子育てプロジェクト」と連携して、多世代が交流することで安心して元気に暮らせるまちを目指すこともひとつです。

また、市営住宅、民間住宅や子育て・交流・福祉等の複合施設などによる「多世代が住む・交流する拠点」を思い描いています。

こういったプロジェクトで、ただ交流イベントを行ったり、ただ施設や住宅を集めるだけではなく、これまでの議論をもとに、このまちにとってどういう福祉機能（サービスや施設）がほんとうに必要なのかを考えていく必要があります。

～「福祉部会」で検討してきたことを「検討会議」によるまち全体の議論へ